



# 「憲法ってなに？誰のもの？」開催

## 労働組合への参加・たたかう民主主義で声を！

### 「若者から高齢者の貧困の実態と展望」 —下流老人と貧困世代—(Ⅱ)

聖学院大学 客員准教授・NPO 法人  
ほっとプラス代表理事 藤田孝典さん

◎(前号から)—現在の下流老人は約 700 万人ですが、さらに下流中年(40歳～64歳)がいます。次の貧困世代 15歳～39歳は年金もかけられず、高齢化するとそのまま多くが下流老人となり、一生涯貧困から抜け出せない人達が約 3600 万人にものぼることになります。—

子どもの貧困率は 16.3%で過去最悪。

母子世帯等「ひとり親世帯」の 54.6%が貧困(ジェンダーギャップ)～生活保護を受給している世帯は約 1 割。多くの世帯が要保護世帯に該当する。

#### ◆「貧困世代のホンネ」

満足な生活費も稼げず、今日一日食べていくのに精いっぱい～将来の生活も不安だから、結婚・出産・子育てなんて「ぜいたく」としか思えない。

#### ◆若者の現実を大人はわからない悲劇

- 労働万能説…働けば収入を得られる
- 家族扶養説…家族が助けてくれている
- 青年健康説…元気で健康である
- 時代比較説…昔はもっと大変だった
- 努力至上主義説…若いうちは努力をするべきでそれは一時的な苦労だ

これらはすべて間違っている！

#### ◆学べない悲劇

- ・生活費を稼ぐためにブラックバイト⇒シフトを次々に入れられ大学に行けない
- ・学費高騰・仕送り減額で、返還に苦しむほどの奨学金に頼って学ぶしかない(大学生の過半数)
- ・奨学金のサラ金化(有利子奨学金の増加)

非常識な日本:大学教育に政府が金を出さない

### 【貧困世代を救うためには？】

- ★まず、大人が生身の若者に数多く接して話を聞く
- ★新しい労働組合への参加と労働組合の復権
- ★子どもの貧困対策とも連携を
- ★家賃補助制度の導入と住宅政策の充実
- ★貧困世代はたたかう民主主義を参考に声をあげよう



## 34名が参加！ 憲法学習会に

11月13日(日)、  
「ゆうばり女性9  
条の会」と「明日  
の平和をつくりだ  
す夕張の会」の共  
催で、憲法学習会  
が開催されました。  
工業大学(室蘭  
講師に「憲法って  
なに？誰のもの  
の？」と題した講  
演で、憲法9条と24  
条をなくそうとする  
勢力が、憲法改悪を  
画策していること、  
女性の権利を保障す  
る24条をなくし、家  
族の助け合いを盛り  
込むことを求める改  
憲勢力の危険性が指  
摘されました。  
また、米軍基地の  
8割が集まる沖繩

と自衛隊が集中する北海道は、日本の植民地扱いにされている現状が報告されました。参加者の8割は女性で、熱心に講師の話に耳を傾けていました。さらに、清末さんが沖繩の様子を動画で紹介し、大阪の機動隊の暴言問題、表現の自由・集



団行動の自由・プライバシー権・平和的生存権の侵害が沖繩で起っていることを参加者に訴えました。最後に、次期国会に、画策される「共謀罪」についての危険性も報告され、日本国憲法施行以来の最大の危機のあること、今一丸となって、改憲阻止運動をすすめる必要があることを訴え、学習会は終了しました。

II 建交夕張支部II  
第72回定期大会開催

11月5日、建交夕張支部の第73回定期大会が、はまなす会館で開催されました。建交労になってから、17回目ですが、前身の全日自労から通算で73回目の大会で、夕張の民主的な労働運動の要となつてきました。議案、予算案などを全会一致で採択し、新役員選出をしました。また、「戦争法廃止、守ろう憲法、増やそう仲間を！」などのスローガンを確認しました。共産党からくまがい桂子市議が臨席し挨拶しました。



第27回 市民音楽の夕べ開催

11月12日夕張音楽協会主催の第27回市民音楽の夕べがホテルシュエパロで開催されました。音楽協会はコーラス集団3グループ、吹奏楽団、音楽DVD鑑賞会の5団体が構成され日ごろの練習成果を発表していました。



特に吹奏楽団の演歌モデルには拍手喝さい、アンコールが出るほど会場を沸かして終了しました。

同年3月、東京株式市場で株価は大暴落し一挙に恐慌の嵐にさらされます。コメ相場は崩れ、生糸綿糸相場も暴落。4月に入ると169の銀行がとりつけ騒ぎになり、285の会社・商店が倒産し、繊維類は3分1に値下がり、農産物は殆んどが下落したと記録されています。

一転不景気に

北炭は、大戦を好機と捉え周辺の炭鉱を合併買収します。万字炭鉱・登川炭鉱・天塩炭鉱等を買収し規模を拡大し、大正8年には資本金の大幅増資を行い総額7千万円に達します。大正9年1月1日付で、大惨劇をみた若鍋坑の石狩石炭株式会社を併合します。生産規模の拡大に躍り上がったのです。

各炭鉱を北炭の支配下に

第一次世界大戦は日本の経済を持ち直し、炭鉱産業も拡大のグラフを描きますが、戦後にはその反動が来ました。急速に不況の波が押し寄せました。

くずさんの  
夕張歴史散歩(60)

北炭大幅な賃下げ断行

北炭の労務管理の実態は、まだまだひどいものがありましたが一旦打ち切り、いよいよ大正10年の大闘争にかかりましょう。その背景は...

紙 智子「国会かけある記」

参議院議員

紙 智子



TPPは参議院で廃案に

参議院でTPP協定の質疑がはじまりました。世界の変化も見ずにTPP協定の採決に向かう政府・与党の姿勢はひどいものです。参議院本会議で質問に立ちましたが、安倍総理は私に目を合わせず、もっぱら原稿を棒読みするばかり。会場から「質問者のほうに顔を向けて答弁しろ！」とヤジが飛びました。

衆議院では畠山和也議員が、国会決議違反や農業の影響試算の問題、食の安全、薬価や共済など、TPPの論戦の先頭に立ちました。

衆議院の質疑は、山本農水相の二度にわたる暴言で、徹底した議論を損なわせたのに、政府・与党は、その打開策を示すこともなく、強行突破を図りました。

そのひどさ、くやしさを引き継いで、徹底した審議で廃案に追い込みたいと思います。

新たに大統領に当選したトランプ氏は、TPPについて「最悪の協定だ」「大統領の就任初日に離脱する」と表明し、共和党の議会指導部はTPPについて年内の議会には提出しないと断言しています。審議を進める前提が崩れていると主張しました。

また、EU(欧州連合)とアメリカの環大西洋貿易投資連携協定(TTIP)の交渉も暗礁に乗り上げています。アメリカでもヨーロッパでも、日本でも大きな国民の反対運動がおきており、総理の認識を聞きましたが、「コメントは差し控える」とまともに答えません。TPP協定は国民生活、経済主権に多大な影響を与えるものです。参議院で廃案にするために頑張る決意です。